

会 議 録

会 議 名	第 2 2 期小金井市公民館企画実行委員の会議 第 1 3 回		
事 務 局	公民館 本館		
開 催 日 時	平成 2 5 年 8 月 6 日 (火) 午前 1 0 時から午前 1 1 時 1 0 分		
開 催 場 所	公民館本館		
出 席 委 員	小川委員、菅沼委員、野口委員、福井委員、花淵委員、山本委員		
欠 席 委 員			
事 務 局 員	渡辺社会教育主事、和田主任		
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者数	なし
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会 議 次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 利用者懇談会報告 2 新センターの愛称募集について 3 新センターの発起人集会について 4 主催事業について <ul style="list-style-type: none"> ○成人学校講座について ○成人大学講座について ○市民がつくる自主講座について 		

<p>会 議 内 容</p>	<p>司会 野口委員 定刻となりましたので企画実行委員の会議を開催いたします。</p> <p>渡辺：夏の人事異動ですが、事業係については異動はありませんでした。本館庶務係の樋口職員が異動となりまして、後任に高橋職員。</p> <p>司会；野口委員 それではまず、利用者懇談会についてお願いします。</p> <p>渡辺：7月26日に公民館運営審議会が開催され、(仮称)貫井北町地域センターの運営等について答申が出されました。答申の方向性については、すでにご報告いたしました。その答申を踏まえた運営方針を7月30日に利用者懇談会にてご説明いたしました。午後2時～と午後7時～の1日2回開催いたしました。参加者は昼の部が34人。夜の部が25人。出されましたご意見の特徴的なところをご報告いたします。NPO法人を市民、市民団体と行政が協力して立ち上げて、事業運営にあたるという方向性については、賛成の方が多かったと思います。特に、行政サービスの受益者から運営にも参加するという考え方に期待する方が多かったのが特徴です。また、昼の部と夜の部では、雰囲気は多少違っていました。昼の部では、運営の具体的な質問が多かったのに対して、夜の部では、もっと時間が欲しかったという厳しいご意見もありました。</p> <p>司会：次に、新センターの愛称についてお願いします。</p> <p>渡辺：応募件数は30件でした。(仮称)貫井北町建設市民検討委員会の皆様に、第一次選考をお願いいたしました。その結果、上位5候補を選んでいただきました。第五位が同率で5候補ありますので、第一次に通過したのは9候補案ということになります。これを踏まえて、図書館協議会委員と公民館運営審議会委員に第二次選考をお願いします。</p> <p>渡辺：8月3日に新センターの運営に関しましてのNPO法人の設立発起人会が開催されました。受付の名前をご記入していただかない方も大勢おりまして正確な人数は把握できませんが大勢の方がご参加いただきました。会員での審議に入る前にもう一度行政からいままでの経過を説明して欲しい。それを聴いたうえで会員に参加するかどうかの最終決定をしたいという声がありまして、一部においてこれまでの経過説</p>
----------------	---

明と趣旨説明やNPOの定款などの制度説明をおこないました。これを受けて暫時休憩をいただき、賛同する方には、会員申込書を出していただき、第二部に移りました。第二部では、8月10日の設立総会で議題として出されます内容そのままを提案して、審議していただき、総会で提案する内容が概ね決定いたしました。

和田 市民がつくる自主講座についてですが、公民館運営審議会です承を得ることが出来、配布資料のとおり決定しましたので報告いたします。

なお、申込多数であったことから自主講座開催回数の上限を設定（2時間×3回）とさせていただき、全ての応募について開催していただくことでご理解を得ることが出来ました。今後は申込時点での上限設定も必要になることが考えられるかも知れません。

次回：9月3日（火）午前10時から公民館本館学習室ABで。

以上